第 22 講　明治文化

1　明治文化の特色

①**日本文化の伝統を継承しつつ西洋文化を積極的に受け入れた**，独特の二元性をもつ文化。

☆**古いものと新しいもの，東洋風と西洋風とが無秩序に併存。**

②初期には政府の強力な指導・育成のもとに，教育の普及や交通・通信・出版の発達がみられた。

☆西洋文化の受容は近代国家形成を最大の目的としており，必ずしも国民生活に根ざしたものではなかったため，上辺(うわべ)だけのものに陥(おちい)りがちだった。

☆中期以降は国民の自覚が進み，自主的な努力で発展した。

③科学的精神の重要性が高まる。

☆不十分ではあったが，学問・文学・芸術が政治・道徳・宗教から独立して発展。

④物質文明の急激な流入に比べ，日本人の精神の変化はゆるやかだった。

☆とくに都市に比べ農村の近代化は，はるかに遅れた。

２　明治時代の思想

①西洋思想の流入（明治10年代まで）

従来の儒教・神道による考えや古い習慣が時代遅れとして排斥（はいせき）され，かわって自由主義・功利主義・個人主義などの西洋近代思想が流行し，**天賦（てんぷ）人権の思想**が唱えられた。

A　**明六社（めいろくしゃ）**の結成（**1873年**）⇒『**明六雑誌**』（1874年～75年）

英米留学から帰国した**森有礼（ありのり）**を社長に，**加藤弘之（ひろゆき）・西周（あまね）**・津田真道（まみち）・**西村茂樹（しげき）・福沢諭吉・中村正直（まさなお）**らの洋学者が**啓蒙（けいもう）主義を**導入。演説会を開き封建（ほうけん）思想の排除と近代思想の普及に努めた。

☆森有礼は**薩摩藩**出身で，のち**初代文部大臣**として学校令を公布した。

B　**ドイツ流国家主義**⇒保守的**国権論（政府系）**

あ　**加藤弘之**

『国体新論』『真政大意』で天賦人権論を紹介し，国民の利益を主張する民権論の立場に立った。しかし，優勝劣敗を説くスペンサー（英）の社会進化論の影響を受け，『**人権新説**』を著して国家の利益を優先する**国権論へ変節。**

☆1881年，東京大学初代総理となった。

い　**西周**

1862年，文久の改革でオランダに留学し，帰国後に『万国公法』を翻訳。のち軍人訓戒（1878年）や軍人勅諭（1882年）を起草。

☆「哲学」「理性」「主観・客観」などの哲学用語を案出したことでも有名。

う　津田真道

西周とともにオランダに留学し，帰国後に初の西洋法学書『泰西（たいせい）国法論』を翻訳。

え　**西村茂樹**

皇室崇拝を中心とした新たな国民道徳の確立に尽力し，『**日本道徳論**』を著す。

C　**イギリス流功利主義思想⇒**漸進的**民権論（立憲改進党系）**

あ　**福沢諭吉**

豊前国中津藩出身。大坂に出て緒方洪庵の適塾〔適々斎塾〕に学び，３度にわたり欧米を巡歴。1868年には**慶應義塾**を創設した。著書『**西洋事情**』『**学問のすゝめ**』『**文明論之概略**』『福翁自伝』など。

☆1885年には新聞『時事新報』紙上で**脱亜論**を発表し，国権論を唱えた。

い　**中村正直**〔敬宇〕

幕臣としてイギリスに留学し，個人主義道徳を日本に紹介。著書『**西国立志編**』（スマイルズ『自助論』の翻訳），『**自由之理**』（ミル『自由論』の翻訳）。

D　**フランス流自由主義⇒**急進的**民権論（自由党系）**

あ　**中江兆民⇒"東洋のルソー"**

土佐藩出身。岩倉使節団に同乗しフランス留学。帰国後，西園寺公望社主の『東洋自由新聞』主筆となり，のち自由党員として自由民権運動を牽引する。著書『**民約訳解**』**（ルソー「社会契約論」の翻訳）**，『三酔人経綸問答』『一年有半』など。

☆1890年，衆議院議員となるが，第一議会における自由党土佐派の妥協に憤激し翌年辞職。弟子の幸徳秋水らを育てた。

い　**植木枝盛**

土佐藩出身。立志社に加わり，のち自由党員として自由民権運動を牽引した。著書『**民権自由論**』『天賦人権弁』など。

う　馬場辰猪

土佐藩出身。のち自由党幹部となるが，板垣退助らの外遊問題に反対し脱党した。著書『天賦人権論』など。

☆福沢諭吉に学び，激しい国権論者でもある。

え　**大井憲太郎**〔馬城台二郎〕

国会の早期開設を唱え，時期尚早とする加藤弘之と"民撰議院論争"を展開。

☆自由党左派として活躍するが，のち1885年の大阪事件で収監されるなど，国権論を唱える。

②国家主義思想の台頭(明治20年代〜)

日清戦争勝利の自信と三国干渉への憤激が，対外膨張の**国家主義**〔ナショナリズム〕へと向かわせた。

☆社会主義者と一部のキリスト教徒たちはその傾向に反対していたが，国家主義は日露戦争の前には思想の主流になっていった。

A　**平民主義〔平民的欧化主義〕**⇒政府による貴族的欧化主義に反発

徳富蘇峰らの**民友社**による**雑誌『国民之友』**(のち**『国民新聞』**に吸収)。

☆徳富蘇峰は，海老名弾正らとともに熊本洋学校でジェーンズ(米)に学んだ後，京都の同志社英学校で新島襄に学ぶ(＝熊本バンド)。

☆『新日本之青年』『将来之日本』を著すが，日清戦争開戦と同時に『大日本膨張論』で**国家主義**に変節，以後『近世日本国民史』100巻の執筆をライフワークとした。

B　**国粋主義〔国粋保存主義〕**⇒日本的な伝統・美意識を強調

三宅雪嶺，**志賀重昂**，**杉浦重剛**らの**政教社**による**雑誌『日本人』**(のち『日本及日本人』と改称)。

☆三宅雪嶺は『真善美日本人』，志賀重昂は『日本風景論』の著者。

C　**国民主義**⇒国民の統一と公共の利益を説く

陸羯南らの**新聞『日本』**。

☆当初は日本の中国分割への参加を批判したが，北清事変後のロシアによる満洲占領を契機に対露強硬論に転換した。

D　**日本主義**⇒古来の伝統を重視し国民精神の発揚を唱える

高山樗牛・井上哲次郎らが博文館の**総合雑誌『太陽』**誌上などで展開。日本の大陸進出を肯定した。

☆高山樗牛は歴史小説『滝口入道』の著者。

---

③反国家主義思想の成長（明治30年代～）

Ａ　国家主義思想の低迷と強化

日露戦争勝利による国家目標の実現≠生活の向上という実感。

☆この前後，第一高等学校生藤村操（みさお）の投身自殺（1903年，日光華厳（けごん）の滝）など，煩悶（はんもん）する青年を生み出す。

☆町・村や個人の実利追求の風潮の高まりに対し，第二次桂太郎内閣は勤倹節約と皇室の尊重を国民に求める**戊申詔書**（ぼしんしょうしょ）を発し，列強の一員としての日本を支えるための道徳強化に努めた（**1908年**）。

☆**1909年**には内務省を中心に**地方改良運動**を開始，疲弊（ひへい）した地方の財政再建・農業振興・民心向上をはかった。⇒青年会・在郷軍人会が中心となる。

Ｂ　**社会主義**思想の成長

安部磯雄・片山潜（右派）や，**堺利彦・幸徳秋水**（左派）ら。

Ｃ　**社会運動**の発生

労働争議・小作争議などの増加。

３　明治時代の教育

①教育制度の整備

A　**文部省**(もんぶしょう)の設置(**1871年**)

初代文部卿(きょう)に**大木喬任**(たかとう)(肥前藩出身)が就任。

B　**学制**　(**1872年**，文部卿＝大木喬任)

同時に出された『**学事奨励に関する太政官布告〔被仰出書**(おおせいだされしょ)**〕**』で理念を表明。

あ　**フランス流教育制度**を採用

い　**中央集権的な全国画一主義の学校体系を確立**

☆政府は，国民各自が身を立て智を開き産をつくるための学問，という功利主義的教育観を唱え，**小学校教育**に重点を置き**義務教育**の方針を発表。**国民皆学**(かいがく)をめざした。

☆全国を**８大学区**に分け，各大学区に大学校１と中学校32を設置。各中学区に小学校210を設置。これは約600人に１小学校の割合で，とくに地方では当時の国民生活と現実的にかけ離れていた。

う　強引で画一的な実施や**過大な経済負担**，教育内容の不満などもあり各地で**学制反対一揆**が発生

C　師範(しはん)学校・東京女学校(1872年)，女子師範(しはん)学校(1874年)，**東京大学(1877年)**の開設。

☆東京大学は旧幕府の開成所･医学所を起源とする諸校が統合されたもの。のち帝国大学さらに東京帝国大学となった。

D　**教育令**(**1879年**，文部卿＝寺島宗則(てらしまむねのり))

この年，元田永孚(もとだながざね)(熊本藩出身)が起草した『教学大旨(たいし)』も出される。

あ　**アメリカ流教育制度**を採用

☆義務教育は最短16カ月とする。

い　**地方の実情に合わせ**小学校設立は町や村の自由裁量とする

う　小学校を閉鎖・廃止する町村が続出

☆強制から放任への急転換は大きな混乱を招き，“**自由教育令**”と各方面から非難される。

E　**改正教育令（1880年）**

あ　**再び中央集権的な教育制度を採用しドイツ流の国家主義的教育**をめざす

☆義務教育は最短３年，毎年16週間以上とする。

い　国家の基準を明示し教育統制を強化

☆修身（しゅうしん）を筆頭科目とする。

F　**私立学校**の設立

1868年	**慶應義塾（けいおうぎじゅく）**	**（福沢諭吉）**	のち**慶應義塾大学**
1875年	**同志社英学校（どうししゃ）**	**（新島襄（にいじまじょう））**	のち**同志社大学**
1880年	東京法学社		のち法政大学
	専修学校		のち専修大学
1881年	明治法律学校	（岸本辰雄ら）	のち明治大学
1882年	**東京専門学校**	**（大隈重信）**	のち**早稲田大学**
1885年	英吉利（イギリス）法律学校		のち中央大学
1887年	哲学館	（井上円了（えんりょう））	のち東洋大学
1889年	日本法律学校	（山田顕義（あきよし））	のち日本大学
1900年	**女子英学塾**	**（津田梅子）**	のち**津田塾大学**
	東京女医学校	（吉岡弥生（やよい））	のち東京女子医科大学
1901年	日本女子大学校	（成瀬仁蔵（なるせじんぞう）ら）	のち日本女子大学

②国家主義教育の強化（学校教育制度の確立）

A　**学校令**　（1886年，文部大臣＝森有礼（ありのり））

あ　**ドイツ流国家主義的教育制度**

い　帝国大学令・中学校令・小学校令（1890年に改正）・師範学校令の総称

う　**義務教育**期間を尋常（じんじょう）小学校やそれに準じる簡易科の**４年間**とする

え　教科書は**検定制**とする。

B　**教育勅語（ちょくご）〔教育に関する勅語〕**（1890年，**元田永孚（もとだながざね）**・**井上毅（こわし）**が**起草（きそう）**）

「**忠君（ちゅうくん）愛国**」を強調した国家主義的教育理念，儒教的道徳思想。

☆翌1891年，第一高等中学校で**内村鑑三不敬（ふけい）事件**が起こる。

C　高等学校令（1894年），実業学校令・高等女学校令・私立学校令（1899年）

D　**小学校令再改正**　（1900年）

市町村に小学校設置義務を課し，４年間の**義務教育を無償化**。

☆1892年の就学率は男子70％，女子36％だったが，無償化により女子が大きく伸び，1902年に男女合わせての就学率は90％を超えた。

E　教科書疑獄（ぎごく）事件　（1902年）

小学校教科書の採用をめぐる贈収賄（ぞうしゅうわい）事件。

F　**国定教科書**　（1903年）

小学校の教科書が，自由採択制⇒開申（かいしん）制⇒認可制⇒検定制を経て，**国定制**となる。

G　専門学校令　（1903年）

中学校・高等女学校卒業を入学資格とする修業年限３年以上の高等教育機関。

H　**小学校令再々改正**（1907年）

義務教育期間を６年に延長，就学率は1911年に98％を超えた。

I　**南北朝正閏（せいじゅん）問題**　（1911年）

“南北朝”を並立と記述した，文部省の官僚**喜田貞吉（きたさだきち）**が免官となる。

☆以後“南北朝”は“吉野朝”と記述され，北朝の天皇は削除された。

４　明治時代の学問

①明治期の来日外国人（お雇い外国人〔外国人教師〕など）

A　法学

あ　**ボアソナード（仏）**　**刑法・民法など諸法典の編纂**
☆梅謙次郎とともに法政大学の学祖。

い　**ロエスレル　（独）**　**憲法起草の助言**

う　**モッセ　（独）**　**地方制度の助言**

B　**宗教（プロテスタント）**

あ　**ヘボン　（米）**　伝道・語学・医療
☆初の和英辞書『和英語林(ごりん)集成』を出版。ヘボン式ローマ字を考案し，明治学院を創設。

い　**フルベッキ　（米）**　伝道・語学・政府顧問

う　ブラウン　（米）　伝道・語学
☆植村正久(まさひさ)らを導く（＝横浜バンド）。

え　**ジェーンズ　（米）**　伝道・語学
☆**熊本洋学校**で徳富蘇峰・海老名弾正らを教える（＝熊本バンド）。

C　教育

あ　**クラーク　（米）**　**札幌農学校**
☆教頭退職後に内村鑑三・新渡戸稲造が入学（＝札幌バンド）。

い　マレー　（米）　女子教育・政府顧問

D　哲学

あ　ケーベル　（露）　ドイツ哲学など西洋的教養の紹介

い　**フェノロサ　（米）**　**哲学，古美術**
☆弟子の岡倉天心〔覚三(かくぞう)〕とともに日本美術を再評価。

E　文学

ハーン　（英）　**小説・語学**
☆日本名は**小泉八雲(やくも)**，『怪談』などを著す。

F　理科

あ　グリフィス　（米）　化学

い　**ナウマン**　**（独）**　**地質学**

☆フォッサマグナの指摘。

う　**ミルン**　**（英）**　**地震学**

☆工部大学校で講義。日本地震学会の創設に尽力。

え　**モース**　**（米）**　**動物学・考古学**

☆ダーウィン(英)の進化論を紹介，**大森貝塚の発見**。

G　**医学**

あ　ホフマン　（独）　医学

☆初めて病理解剖を行う。

い　**ベルツ**　**（独）**　**医学**

☆『**ベルツの日記**』を著す。

H　産業

あ　**ケプロン**　**（米）**　**北海道開拓**

い　ブリューナ　（仏）　富岡製糸場で工女を指導

う　ダイアー　（英）　工部大学校でエンジニア育成の教育を実践

I　**美術**

あ　**ラグーザ**　**（伊）**　**彫刻**（ちょうこく）

☆**工部美術学校**で**彫刻**を教授。

い　**フォンタネージ**　**（伊）**　**洋画**

☆**工部美術学校**で**洋画**を教授。

う　**ワーグマン**　**（英）**　**洋画**

☆『絵入（えいり）ロンドン=ニューズ』特派員として来日。漫画・風俗画を描き，高橋由一（ゆいち）らに洋画技法も教えた。

え　**キヨソネ**　**（伊）**　**銅版画**

☆大蔵省で紙幣などの原版を製作。

お　**ビゴー**　**（仏）**　**風刺画**

☆漫画雑誌『トバエ』に風刺画を掲載。

J　**建築**

コンドル　　　**（英）**　**建築**

☆工部大学校で辰野金吾・片山東熊らを育てる。

鹿鳴館・ニコライ堂・旧岩崎邸などを設計。

---

②明治期の自然科学

A　**医学**

あ　**北里柴三郎**⇒ドイツに留学，コッホに学ぶ

☆細菌学の研究（破傷風血清療法，ペスト菌発見），**伝染病研究所**の初代所長，のち**北里研究所**を設立。

い　**志賀潔**　　⇒伝染病研究所で学び，ドイツに留学。

☆**赤痢菌**の発見。

B　薬学

あ　**高峰譲吉**

☆**アドレナリン**（強心薬）の抽出，**タカジアスターゼ**（消化薬）の創製。

い　**鈴木梅太郎**

☆米ぬかから**オリザニン**〔ビタミンB_1〕を抽出。

う　**秦佐八郎**　⇒伝染病研究所で学び，ドイツに留学

☆**サルバルサン**（梅毒などの特効薬）の創製。

C　地震学

大森房吉　　⇒ミルン（英）に学ぶ

☆**大森式地震計**の発明。

D　天文学

木村栄

☆**緯度変化のＺ項**を発見。

E　物理学

あ　**長岡半太郎**

☆**原子構造の研究。**

い　**田中館愛橘**

☆地磁気の測定。ローマ字・メートル法の普及にも寄与。

F　応用化学

下瀬雅允（しもせまさちか）

☆強力な下瀬火薬の発明。

G　生物学

牧野富太郎（とみたろう）

☆独学で植物分類学を研究。

---

③明治期の人文・社会科学

A　哲学

西周（にしあまね）・井上哲次郎ら

☆井上は『教育と宗教の衝突』を著し，内村鑑三不敬事件（1891年）でキリスト教を批判。

B　日本文学

芳賀矢一（はがやいち）・藤岡作太郎ら

C　**日本史学**

東京大学に**史料編纂掛**（がかり）が設置され，『**大日本史料**』や『大日本古文書（こもんじょ）』を編纂。

あ　**田口卯吉**（たぐちうきち）⇒『東京経済雑誌』を創刊するなど経済学者としても活躍

☆ギゾー（仏）やバックル（英）らの文明史観の影響を受け，『**日本開化小史**』を著す。

い　**久米邦武**（くにたけ）⇒岩倉使節団に同行し『（特命全権大使）米欧回覧実記』を編集

☆論文『**神道は祭天の古俗**（しんとう・さいてん・こぞく）』を発表，帝国大学を追われる（1891年～92年）。

D　東洋史学

那珂通世（なかみちよ）ら

E　法学

梅謙次郎（うめけんじろう）・**穂積八束**（ほづみやつか）・穂積陳重（のぶしげ）ら

☆民法典論争後は，ドイツ法学が支配的となる。

F　経済学

イギリス流からドイツ流へ

☆当初，自由放任の経済政策や自由貿易を主張するイギリス経済学が導入され，のちにドイツの保護貿易論や社会政策の学説が主流となった。

5　明治時代の文学・ジャーナリズム

①戯作文学（文明開化期，江戸文学の延長）

◇　**仮名垣魯文**　　『**安愚楽鍋**』『西洋道中膝栗毛』

---

②政治小説（明治10年代，自由民権運動宣伝のための小説）

A　**矢野龍溪〔文雄〕**　『**経国美談**』

B　**東海散士**　『**佳人之奇遇**』

C　**末広鉄腸**　『**雪中梅**』

---

③写実主義（明治20年前後，西欧リアリズムを移入）

A　**坪内逍遙**　**評論『小説神髄』**，小説『当世書生気質』，戯曲「桐一葉」

☆雑誌『早稲田文学』を創刊。

B　**二葉亭四迷**　『浮雲』（未完），翻訳『**あひびき**』（ツルゲーネフ）

☆**言文一致運動**「だ」調。

C　**尾崎紅葉**　『**金色夜叉**』（読売新聞に連載，未完）『多情多恨』

☆**言文一致運動**「である」調。**硯友社**を結成し，**初の文学雑誌『我楽多文庫』**を創刊。

D　**山田美妙**　『**夏木立**』『胡蝶』

☆言文一致運動「です」調。尾崎紅葉と行動を共にする。

---

④理想主義（明治20年代，東洋の伝統的理想を掲げる）

◇　**幸田露伴**　『**五重塔**』

☆文語体で執筆。

---

⑤ロマン主義（日清戦争前後，感情・個性の躍動を重視）

A　**森鷗外**（おうがい）　『**舞姫**』，翻訳『**即興詩人**』（そっきょう）（アンデルセン）

☆ドイツに留学した陸軍医。

B　**北村透谷**（とうこく）　評論『内部生命論』

☆**雑誌『文学界』**を創刊したキリスト教徒。

C　**樋口一葉**（ひぐちいちよう）　『**にごりえ**』『**たけくらべ**』

☆東京下町（したまち）の女性たちの悲哀を描く**女流作家**。

D　**泉鏡花**（いずみきょうか）　『**高野聖**』（こうやひじり）

☆尾崎紅葉の弟子。

---

⑥社会小説（日露戦争前後）

A　**徳冨蘆花**（とくとみろか）　『**不如帰**』（ほととぎす）『思出の記』（おもいで），随筆『自然と人生』

☆キリスト教徒でもある徳富蘇峰（そほう）の弟。1911 年，大逆事件の判決後，第一高等学校で行った『謀叛論』（むほんろん）講演でも有名。

B　木下尚江（なおえ）　『火の柱』

☆キリスト教徒でもある社会主義者。

---

⑦自然主義（日露戦争前後，フランス・ロシア文学の影響を受け，社会の暗い現実をありのまま写し出す）

A　**田山花袋**（たやまかたい）　『**蒲団**』（ふとん）『田舎教師』（いなか）

B　**島崎藤村**（とうそん）　『**破戒**』（はかい）『**夜明け前**』

☆当初はロマン主義的作風。

C　**国木田独歩**（くにきだどっぽ）　『**武蔵野**』『**牛肉と馬鈴薯**』（ばれいしょ）

☆当初はロマン主義的作風。

D　**徳田秋声**（しゅうせい）　『**黴**』（かび）『**あらくれ**』

E　**正宗白鳥**（まさむねはくちょう）　『**何処へ**』（どこ）

F　**長塚節**（たかし）　『**土**』

☆正岡子規の門人（もんじん），アララギ派の歌人でもある。

---

⑧二大文豪（明治時代末期〜）

時流にとらわれない超然（ちょうぜん）とした立場をとり，近代的自我の確立をめざす。

A　**夏目漱石（なつめそうせき）**　**『吾輩（わがはい）は猫である』『坊（ぼっ）ちゃん』**『草枕』『三四郎』『それから』『門』**『こころ』**『明暗』（未完）

☆自己本位にもとづいて生きる個人主義を主張。“則天去私（そくてんきょし）”の境地をめざす。

B　**森鷗外**　**『青年』『阿部一族』『山椒大夫（さんしょうだゆう）』**『渋江抽斎（しぶえちゅうさい）』

☆反自然主義の雑誌『スバル』で指導的役割を果たし，のちに歴史小説に移行。

☆独自の個人主義である“諦念（ていねん）〔レジグナチオン〕”を説いた。

---

⑨近代詩の確立

A　外山正一（とやままさかず）ら　『新体詩抄』

B　森鷗外ら　訳詩集『於母影（おもかげ）』

C　**島崎藤村（とうそん）**　**『若菜集』**

☆ロマン主義の詩集。

D　土井晩翠（どいばんすい／つちい）　『天地有情（うじょう）』

E　**上田敏（びん）**　訳詩集**『海潮音（かいちょうおん）』**

F　**北原白秋（きたはらはくしゅう）**　『邪宗門（じゃしゅうもん）』

☆ロマン主義の詩集。

---

⑩近代短歌の確立

A　**与謝野晶子**（よさのあきこ）　**雑誌『明星』**（みょうじょう），**歌集『みだれ髪』**

☆ロマン主義。**与謝野鉄幹**（てっかん）の**新詩社**（しんししゃ）に入社し結婚。

B　**石川啄木**（いしかわたくぼく）　**歌集『一握の砂』**（いちあく）『悲しき玩具』（がんぐ），詩集『呼子と口笛』（よぶこ），**評論『時代閉塞の現状』**（じだいへいそく・げんじょう）

☆ロマン主義のち社会主義者。

C　北原白秋　歌集『桐の花』

☆ロマン主義。

D　**正岡子規**（まさおかしき）　**歌論『歌よみに与ふる書』**

☆根岸（ねぎし）短歌会を主催し短歌革新運動を推進。万葉調の復活と古今調の否定，写生描写を主張。

☆闘病記『墨汁一滴』（ぼくじゅういってき）**『病牀六尺』**（びょうしょうろくしゃく）も有名。

E　**伊藤左千夫**（さちお）　**短歌雑誌『アララギ』**を創刊

☆正岡子規の門人として島木赤彦・斎藤茂吉らを育てる。小説『野菊の墓』も有名。

---

⑪近代俳句の確立

◇　**正岡子規**　門人の**高浜虚子**（たかはまきょし）を中心に**俳句雑誌『ホトトギス』**に協力

☆写生にもとづく俳句革新運動を推進。

---

⑫新聞・雑誌の登場

1851年　**本木昌造**が**鉛製活字**の量産に成功⇒69年に長崎で活版所設立

1862年　『官板バタビヤ新聞』⇒幕府の蕃書調所による木活字

1870年　『横浜毎日新聞』⇒初の日刊新聞

1872年　『日新真事誌』

『東京日日新聞』

『郵便報知新聞』

1874年　『朝野新聞』

『読売新聞』⇒**小新聞**（大新聞〔政論新聞〕に対する娯楽新聞）の元祖

『明六雑誌』

1875年　讒謗律・新聞紙条例および出版条例改正

1877年　雑誌『団々珍聞』

1879年　『朝日新聞』

『横浜毎日新聞』を『東京横浜毎日新聞』と改称

1880年　『六合雑誌』⇒東京キリスト教青年会〔YMCA〕の機関紙

1881年　『東洋自由新聞』

1882年　新聞『時事新報』

『自由新聞』

1883年　**『官報』**⇒国の公示事項を収載した政府機関紙

1885年　『女学雑誌』⇒巌本善治が編集した初の本格的女性雑誌

『少年世界』

1887年　雑誌『国民之友』

雑誌『トバエ』

1888年　『東雲新聞』⇒中江兆民ら

雑誌『日本人』

『東京朝日新聞』

『大阪毎日新聞』

1889年　新聞『日本』

雑誌**『風俗画報』**

『朝日新聞』を**『大阪朝日新聞』**と改称

1890年　『国民新聞』

1892年　新聞『万朝報』

1893年　雑誌『文学界』

1895年　総合雑誌『太陽』
　　　　雑誌『東洋経済新報』
1897年　俳句雑誌『ホトトギス』
　　　　雑誌『労働世界』
1899年　総合雑誌『**中央公論**』⇒もと浄土真宗系の『反省会雑誌』
1900年　雑誌『明星（みょうじょう）』
1903年　週刊『平民新聞』
1907年　雑誌『世界婦人』⇒景山〔福田〕英子ら
1908年　短歌雑誌『アララギ』
1909年　雑誌『スバル』
　　　　新聞紙法の制定
1910年　雑誌『白樺』
1911年　女性雑誌『青鞜（せいとう）』

６　明治時代の芸術

①美術・音楽学校，美術団体

A　**工部美術学校**（1876年～83年⇒官立学校）

外国人教師として**ラグーザ**，**フォンタネージ**らイタリア人が招かれ，彫塑（ちょうそ）・洋画を教授。

☆のち伝統美術を育成する方針となり閉鎖。

B　**東京美術学校（1887年⇒官立学校）**

初代校長となった**岡倉天心**〔覚三（かくぞう）〕と師の**フェノロサ**が設立に尽力。日本画・木彫（もくちょう）に重点を置きつつ，1896年以降は洋画・彫塑なども指導。

☆岡倉天心は『東洋の理想』『日本の覚醒（かくせい）』『**茶の本**』などを英文で著す。

C　**東京音楽学校（1887年⇒官立学校）**

文部省の音楽取調掛（おんがくとりしらべがかり）であった**伊沢修二**（いさわしゅうじ）が初代校長となり，**滝廉太郎**（たきれんたろう）らを輩出。

☆伊沢修二は，西洋の歌謡（かよう）を模倣した**唱歌**（しょうか）教育を開始。

☆滝廉太郎はのちドイツに留学。『荒城（こうじょう）の月』『箱根八里（はちり）』『花』などを作曲。

D　**明治美術会**　（1889年）⇒イタリア系“脂派（やには）”

フォンタネージに学んだ**浅井忠**（あさいちゅう）らが結成した，**わが国初の西洋美術団体**。

☆のち解散し，太平洋画会となる（1902年，満谷国四郎（みつたにくにしろう）ら）。

E　**白馬会**（はくばかい）　（1896年）⇒フランス系“外光派（がいこうは）〔紫派（むらさきは）〕”

黒田清輝（くろだせいき）・久米桂一郎（くめけいいちろう）らが明治美術会から脱会して結成した美術団体。画壇の主流を形成した。

F　**日本美術院**　（1898年）

東京美術学校校長を退任して**岡倉天心**が設立した，日本画中心の美術団体。のち経営難により活動停止となる。

☆岡倉天心の死後，弟子の横山大観らが再興。**日本美術院展覧会〔院展〕**を開催。

②美術展覧会

文部省美術展覧会〔文展〕(1907 年)

☆第一次西園寺公望内閣の文部大臣**牧野伸顕**(大久保利通の子)が創始。文部省や東京美術学校などの関係者の意見を入れて，日本画・洋画・彫刻の３部門からなる総合展覧会を開設。日本の伝統芸術と西洋美術との共栄をはかり，以後も回を重ねた。

---

③代表的日本画家

A　**狩野芳崖**　『**悲母観音**』
　☆東京美術学校設立に協力するが，開校直前に死去。

B　**橋本雅邦**　『**龍虎図**』
　☆岡倉天心とともに東京美術学校・日本美術院を設立。

C　**横山大観**　『**無我**』『**生々流転**』

D　**菱田春草**　『**黒き猫**』『**落葉**』

E　**下村観山**　『**大原御幸**』

F　**竹内栖鳳**　『**斑猫**』『アレタ立に』
　☆京都画壇を牽引。

---

④代表的西洋画家

A　**高橋由一**　『**鮭**』
　☆横浜でワーグマン(英)に学ぶ。

B　**浅井忠**　『**収穫**』
　☆工部美術学校でフォンタネージ(伊)に学ぶ。

C　**黒田清輝**　『**湖畔**』『**読書**』

D　**和田英作**　『**渡頭の夕暮**』

E　**赤松麟作**　『**夜汽車**』

F　**藤島武二**　『**天平の面影**』

G　**青木繁**　『**海の幸**』

H　**和田三造**　『**南風**』

---

⑤代表的彫刻家

A　**高村光雲（こううん）**　『**老猿（ろうえん）**』『西郷隆盛像』

B　**竹内久一（きゅういち）**　『**伎芸天像（ぎげいてん）**』

C　**荻原守衛（おぎわらもりえ）**　『**女**』『坑夫（こうふ）』

☆アメリカやフランスで学び，ロダンの影響が強い。

D　**新海竹太郎（しんかいたけたろう）**　『**ゆあみ**』

E　**朝倉文夫（あさくらふみお）**　『**墓守（はかもり）**』

---

⑥代表的建築家

A　**コンドル**　『**鹿鳴館（ろくめいかん）**』『**ニコライ堂**』『旧岩崎邸』

☆工部大学校で辰野金吾・片山東熊を指導した**イギリス人。**

B　**辰野金吾（たつのきんご）**　『**日本銀行本店**』『**東京駅**』

C　**片山東熊（かたやまとうくま）**　『**旧東宮御所（とうぐうごしょ）〔現在の赤坂離宮迎賓館（りきゅうげいひんかん）〕**』『京都帝室博物館』『奈良帝室博物館』

７　明治時代の演劇

①歌舞伎

政府の欧化主義に対応し，演劇改良運動が起こる。

Ａ　脚本家

幕末から続く**河竹黙阿弥**（かわたけもくあみ）の活躍⇒散切物（ざんぎりもの）・活歴物（かつれきもの）

☆のち福地桜痴（おうち）〔源一郎〕が**歌舞伎座**を設立。

Ｂ　俳優

「団・菊・左時代」⇒明治中期の歌舞伎黄金時代

☆**９代市川団十郎・５代尾上菊五郎**（おのえきくごろう）**・初代市川左団次**（さだんじ）。歌舞伎の社会的地位が著しく向上した。

---

②新派劇

川上音二郎（かわかみおとじろう）らが時事的な劇に民権思想を盛り込んだ壮士（そうし）芝居や**オッペケペー節**（ぶし）を演じる。

☆日清戦争前後，通俗小説の劇化を加え，大衆的な現代劇へと変化。

☆川上音二郎の妻で女優となった川上貞奴（さだやっこ）は，欧米の興行で「マダム貞奴」として名声を得た。

---

③新劇（明治後期〜）

西洋近代劇を翻訳（ほんやく）・上演。1911年には日本初の純洋風劇場として**帝国劇場**も設立された。

Ａ　**文芸協会**（1906年）

坪内逍遙（しょうよう）**・島村抱月**（ほうげつ）ら

☆女優の**松井須磨子**がシェークスピア『ハムレット』のオフェリア，イプセン『人形の家』のノラなどを好演。

Ｂ　**自由劇場**（1909年）

小山内薫（かおる）・２代市川左団次ら。

８　明治時代の宗教界

①神社神道（祭祀を担う超宗教）

A　国家が手厚く保護

☆天皇の神格化・絶対化に利用（＝**国家神道**）。

B　三重県の**伊勢神宮（内宮・外宮）**を頂点とする国家的神社制度

あ　全国の神社を**官社・諸社**に大別

☆さらに官社を官幣社・国幣社に大別。

☆東京府の**靖国神社**（もと招魂社）は別格官幣社とされる。

い　皇室行事を中心に**祝祭日**を設定

☆**紀元節**（２月11日＝神武天皇即位の日），**天長節**（11月３日＝明治天皇の誕生日）など。

C　**神道国教化の挫折**

1868年　**五榜の掲示**による切支丹邪宗門の禁止

☆**浦上教徒弾圧事件〔浦上崩れ〕**（1868年～73年，**長崎県**）政体書による**神祇官**の再興

神仏分離令〔神仏判然令〕

☆従来の神仏習合を否定，**廃仏毀釈**の嵐が吹き荒れる。

1869年　版籍奉還後に神祇官が太政官と並立・上位とされる

宣教使の設置

1870年　**大教宣布の詔**

☆神道国教化をめざし宣教使に布教を命じるが，仏教側の抵抗により失敗に終わる。

1871年　廃藩置県後に神祇官を**神祇省**に格下げ

1872年　神祇省を**教部省**と改称

1873年　**キリスト教信仰を黙認**

☆以後，キリスト教会は布教のかたわら教育・福祉活動や廃娼運動などに成果を上げていく。

1877年　教部省，内務省に併合される

☆国民の教化をあきらめ，祭祀と宗教を分離し**国家神道**を確立。

1889年　**大日本帝国憲法発布**

☆法律の範囲内で，臣民の信教の自由が認められる。

②教派神道（政府公認の神道系新宗教 13 派）

江戸時代後期以降に創始された，**黒住宗忠**（くろずみむねただ）**の黒住教（岡山県）**，**中山みきの天理教（奈良県）**，**川手文治郎**（かわてぶんじろう）**の金光教**（こんこう）**（岡山県）**などを順次公認。

---

③その他の神道系新宗教

開祖の出口なお，その娘婿（むすめむこ）出口王仁三郎（おにさぶろう）の大本教（おおもときょう）（京都府）など。

---

④仏教の復興

浄土真宗の**島地黙雷**（しまじもくらい）や井上円了，清沢満之（きよざわまんし）らの活躍で，廃仏毀釈による打撃から復興。

９　明治時代の生活文化

　東京など都市部を中心に生活文化の西洋化「**文明開化**」が起こり，旧暦〔太陰太陽暦〕を廃し**太陽暦**を採用(明治５年12月３日を明治６年１月１日に)。１日24時間・週７日・日曜休日制を採用，五節句にかわり祝祭日が制定された。また，断髪令・廃刀令も出され，封建的な習俗も廃止となった。

☆西洋化が進む反面，伝統文化軽視の風潮が広まり，民族的文化遺産の破壊や文化財の安売りが行われた。

①衣

　男性はざんぎり頭に帽子・洋服・靴の着用開始，こうもり傘の使用など。

☆女性は和服が主体，日本髪にかわり束髪が考案される。

②食

　都市部を中心に洋風化。**牛鍋**・ビール・コーヒー・ミルクなど。

③住

　公共建築物には西洋建築を採用したが，民家はほとんどが和風であった。

☆文明開化期には銀座に煉瓦街も登場。

④施設

A　照明

ガス灯から電灯へ

☆家庭では(石油)ランプを使用。

B　交通手段

人力車・乗合馬車・自転車⇒**蒸気機関車**・鉄道馬車⇒路面〔市街〕電車(1895年，京都)の登場。

☆人力車は和泉要助らが発明。

C　その他

活動写真の登場(19世紀末)

☆当初は無声映画〔サイレント〕。

〈***Note***〉

第 22 講　確認問題

1　明六社の同人で，『西国立志編』『自由之理』などの著者とは？

①森有礼　②加藤弘之　③福沢諭吉　④中村正直

2　国粋主義を唱える雑誌『日本人』を発行した政教社と関係のない人物を一人選べ。

①徳富蘇峰　②三宅雪嶺　③志賀重昂　④杉浦重剛

3　1900 年に女子英学塾を創設した人物は？

①新島八重　②津田梅子　③吉岡弥生　④景山〔福田〕英子

4　熊本洋学校で徳富蘇峰や海老名弾正を教えたアメリカ人とは？

①ヘボン　②フルベッキ　③ジェーンズ　④モース

5　独学で植物分類学を研究した植物学者とは？

①北里柴三郎　②鈴木梅太郎　③長岡半太郎　④牧野富太郎

6　岩倉使節団に随行して『(特命全権大使)米欧回覧実記』を編集，帰国後に論文『神道は祭天の古俗』を発表し帝国大学を追われた人物とは？

①中江兆民　②新島襄　③久米邦武　④山口尚芳

7　読売新聞に断続的に連載され未完に終わった，尾崎紅葉の超人気小説とは？

①『浮雲』　②『金色夜叉』　③『夏木立』　④『五重塔』

8　『不如帰』などの社会小説を著した作家とは？

①泉鏡花　②徳冨蘆花　③木下尚江　④田山花袋

9　1870年創刊の，わが国初の日刊新聞とは？

①『官板バタビヤ新聞』　②『横浜毎日新聞』
③『東京日日新聞』　④『読売新聞』

10　1887年，東京音楽学校の創設に尽力した初代校長は？

①伊沢修二　②滝廉太郎　③北原白秋　④山田耕筰

11　『斑猫』『アレ夕立に』を描き，京都画壇を牽引した日本画家とは？

①狩野芳崖　②橋本雅邦　③横山大観　④竹内栖鳳

12　廃仏毀釈による打撃から仏教を復興させた人物たちとして不適切なものを一つ選べ。

①島地黙雷　②井上円了　③清沢満之　④出口なお

解答

1	④	2	①	3	②	4	③	5	④
6	③	7	②	8	②	9	②	10	①
11	④	12	④						